

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 事業名  
606 防火水槽の耐震化事業

[事業基本情報]

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	2	消防・救急救助体制の充実
施策	2	消防力の充実
取組	4	消防水利の整備

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		消防費
	項		消防費
	目		消防費
	大事業		消防事業
事項		防火水槽の簡易耐震化事業	

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	警防課	大浦 正男 (428-0119)
関連課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実	○	美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	災害発生時の消防水利を確保し、被害の軽減を図るため、防火水槽の耐震化を図るものです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の非耐震性防火水槽を簡易的に改修し耐震化する。</li> <li>防火水槽を設置する場合に耐震性の防火水槽を設置するようにする。</li> </ul>				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		耐震性公設防火水槽 (40㎡) 8基新設 (20㎡) 23基新設 簡易耐震化防火水槽 14基	耐震性公設防火水槽 (40㎡) 13基新設 (20㎡) 11基新設 簡易耐震化防火水槽 20基	耐震性公設防火水槽 (40㎡) 11基新設 (20㎡) 22基新設 簡易耐震化防火水槽 20基		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	18,326	17,220	32,000	29,190	8,000	27,639	8,000		8,000	
	伸び率 (%)	-	-	74.6%		-75.0%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	7,983	11,231	14,172	5,708	5,273	5,230	4,742		5,230
		非常勤職員							95		0
		小計	7,983	11,231	14,172	5,708	5,273	5,230	4,837		5,230
	国庫支出金	16,500	16,500	22,320	24,170	5,000	26,000	5,000			
	県支出金										
	市債										
	その他			3,680	530			750			
一般財源(税等)	1,826	720	6,000	4,490	3,000	1,639	2,250		8,000		
所要人数	常勤職員	1.04	1.47	1.85	0.76	0.7	0.69	0.63		0.69	
	非常勤職員							0.04		0	

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	耐震性防火水槽の整備数(公設防火水槽のうち、耐震性防火水槽の総数)				年度目標値	489	524	559	594	629
					実績値	454	485	542		
	単位	基	全体目標値	629	全体目標達成度	77.1%	年度別達成度	92.8%	92.6%	97.0%
	非耐震性防火水槽の簡易耐震化数				年度目標値	14	20	20	5	20
					実績値	14	20	20		
成果指標	防火水槽の耐震率(耐震性公設防火水槽/全公設防火水槽)				年度目標値	32	33.5	35	36.4	37.7
					実績値	31.8	32.9	34.33		
	単位	%	全体目標値	37.7	全体目標達成度	87.3%	年度別達成度	99.4%	98.2%	98.1%
	防火水槽の簡易耐震化率(簡易耐震化完了防火水槽数/対象防火水槽数111件)				年度目標値	12.6	30.6	48.6	66.7	84.7
					実績値	12.6	30.6	48.6		
	単位	%	全体目標値	48.6	全体目標達成度	30.6%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)  <b>A</b>
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	災害発生時の消防水利を確保するため、防火水槽の耐震化、既存非耐震性防火水槽の簡易耐震化は継続して行っているかなければならない。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	